日の四相信語の結果産海軍の國策 品地しがついたので、思想被別は一 佐に属する可認能に国防制度の一

一政工作も原制に並み、殊に十八「東京市計」圏領決定に続する第

川越大使と宋氏

出日なべる明答

北支問題を繞つて

の腹梁を得たので二十八年則十時 スを基準に嵌入間用を検討、大<u>職</u>

各省の製水に對しては燃酸の環線

官業収入の増加等を誤つてもその は世紀を初め報節質能よりの維人 すこと、なり、心して縦人に戻て **業別に出した原国刑後の源所を示っ、二原国の圧制に選し、本年度** 異原が十六位置と合計すれば三十 1、二版画の高瀬に達し、

軍部にも或る程度恐んで貰ひ

首相を訪問

脱落國策は閣僚の面目に留意

| 領防第一主義の襲撃を編成すると| し、國典項目についても四大方針|

**貫ふ辺襲があると云ふに登現一致。の姿でを貧した結果、敵人の記述。リッド、パロセロナ火管で襲撃さしてリナルして土難海軍に主要る態度認めで。に期り南州との間に騒迹なきが見したといはれる、右岸脈にはドー夫律** 

**機は十大億団餘で合計明年度各省豫算總額は三十一、二億国内外 どなり、本華度餐に比しているの明年度各省豫算新規要求總額は優に十五億に達する見込となり、明年度基準豫算に対し、更に國防費としての陸海軍の新規要求額は入億国を突破する勢ひであり、之と共に達し、更に國防費としての陸海軍の新規要求額は入億国を突破する勢ひであり、之と共足が、明集度は歐近高額の憲策をの虧所置置後第の高處に重整を置いたため、右の國策豫 第の 要求 額質に三億算業位置 明華度集算品融資金額 原元度整合原本 有の國策豫 第の要求 額質に三億算業位置 明華度集算品融資金名的業務網路提出表表** 

歲入計畫の腹案を得

八億圓程度に膨脹

陸藏兩省、各省の概算書提出

第項目殆んど決定

の首相ミ藏相の會見で

東に考究する国策 一、職務政府手限延長 一、題材負債監理 一、題材負債監理 海外協會訓散提地案に關する施設

明年度豫算總額は

定することへなるべく、交流を自想との間に関節の上決を直接との間に関節の上決をが終担 機能能の新那些末として取留の海連関策の知され、一省の海連関策の知され、一部は省部内允別質能に評信

一 変技定事即で作の結過を終取した が既に整田提記官長を訪問、國重 所改勢才能は二十日午期十時首組 【東京電站】山本文部、野田司法

八體意見

**次週末頃から國策閣議を再開** 

鼠疫 馬場蔵相は語る

藤沼翰長を訪問山本野田兩次官 とに感見の一致を見た、仍て二 採擇すべき國策

| 日の配職前後帯的隆超、水野|院彦京を中心に重要協議を遂ぐる|は翌日)| | に感見の一致を見た、仍て二|海超と第三次四組衝撃を聞いて図|ことにならう(穹原上は首相、

行つた、何スタンドレー提督は 水艦三型の建造工事語質の入札

死することとならうと**誤**つた **刀艦一型の建造についてはルー** レエルト大統領の裁可を待つて決 永田拓相ける

電を開催が発音側より永田指相外では、入江南文章、練参奥宝以下沿田、入江南文章、練参奥宝以下各局部長が出席した 一言即以南南部總督を招吞、午登 東京沿路一永田都自は二十日 南總督を招待

打されて、その下の前の上にただします」

郷下船に出りた

式の部屋の真中に、明々と書詞が

五人の少年達とは一間を隠てた

| 一般を盗して彫らせて頂きたいと夜 | たことはございませぬ、いつそ覆 | 数べるだけの、綺麗だ男の肌を見

世繪

藥

£

(20)

間二時半点城縣越南鮮神宮に正式 個時急行にて音低するが緊動者後 る二十二日午後三時十分京城野番 十二 日 登 體 師の伊助、三尺はかり除てく、 に白かつた、その直ぐ傍には沓刺しむもよからう。直ぐに支度をして とはないぞ、そなたのこの実しい

ため悪質时に初登廳し、賦が悪賦 にえてるやふのか、好しも構いこ が、思びがけなく嘘の前に現れまではあるが事務と理の很重を討る 住えてるやふのか、好しも構いこ が、思びがけなく嘘の前に現れまた。 着住奉任の後間四時退魎後 『ほくくく・ 世苦、そなたまだ 年税めて居りました契しい男の肌 この給が彫りたいばつかりに、多

なきものにして測ぜるのだや。

「よう云やつた。

は直ぐに始め

いゆき、美しい緒を描いて、こよ一きたいと欲じます

のまゝにして置いては惟一絶えても悔のないものを置してお

したのは天の助け。このまく息が

男景籍、この国耳が絵々とほく 標準端に悠々自適してある屋飼 | 「ほんにお姫橋の御意の通り、庄 | 「はい」

るが、足はと

なり弱つてる どれ程見事でございませら。わた

ど丸程見事でございませら。わたに、由吉が顔を上げた。

くしもあの雪の中で拾ひました時一『手削は、まだ奉公中の搬でござ

生と整理した。
出政府を承認する言非公式に向し

イルンを奪取すべ 革命軍攻擊開始

マドリッドを占握した際には革命 「タリー南國政府は若し革命軍が

進しもその元量には盛いてゐる と歩いてゐる 朝タスター ても遊遣で毎

一着くがである、なほ看住第二日の 一般長の旅野を受け同四時二十分よ を元人同四時半戦務悪闘器に於てて着任の挨拶を兼ねて一場の訓が り第一回議論に於て全職員に到し 治に於て熱質所含局部長、所屬官

李鑓公采に伺候の上著住法抄を申 し、聞いて思徳富、李儼公家、

きませなんだが、でもまア見れば 見る程美しいことでございます。 には、よもやこれ程までとは前内しいます。少しでも間をつけまして

もございますまいなアー

もしお確様、御度実は御如ずしし

は、御事人様に申認がこざいませ

「え」何を云でる。そなたを聞く

上に申上げて、過分の褒美を取ら、ちゃ。濟むも濟まれもない。わらためていふまでもないぞえて、伯父。れた容貌にして趣ぜようといふの 「柔材としたことが、それやあら」するのではない。この上ともに勝

はの云ひつけ通り素直にしてるや

言のこの値に似合よ緒はなんであし らははまだ迷ふてゐるのちや。 で行ちや」と照が手で試した。 では伊助、直ぐにそれに 。 起 こればつか りは部 浴臓下さいまで わ なら、片輪襦になつてしまひます

を取るのが、よろしからうと信じ

増松と国民生活の安定を廃立|

「はい。百の花束に火を放つて、

がある、聴が既なる壁であるに 匹の度胸がなくもやわ 制圧が空中戦をやつたとの郷一その穴で若い娘が虚かれてゐる図

宗氏はおに蜀し気やより窓間の意

主義で進む

大使と宗西元氏との意見に於て次

【北平十九日同盟】十九日の川越

【北平十九日回盟】川越天使は宋

マー・リッド・九日同盟)スペイ | 大人作。 | 大人的。 | 大人的。 | 大人作。 | 大人作。 | 大人作。 | 大人作。 | 大人的。 | 大人的 常を載けて研究すると云志が如き ルンを包縛する底上すり飲食単に 人の戦級を死守すると海にいいては過ぎ を集中して果敢な強軽を開始して ロニア目治州に真命つてあくまで りきあら 有地裁縁に原て着々戦界北方の妻 アボ戸の地であるまで りきあられる 「大声がある方言大を装置におっている。 「大声がある音大を装置するとの。 「大声がある音大を装置するとの。 「大声がある音大を装置するとの。 「大声がある音大を装置するとの。 「大声がある音大を装置すると変します。」 「アンディ 「東側」・ 一九日同盟」スペイ に重視しる変異なるを認めた。 ちざる標質学し融内の翻誦を縋る。恵子るばかりと際へらる、他方螺、日州の郊遥祖螺をソヴェート遺跡方針を撰つて継続の亀目微鑑の鬼「崔螺の漫魔を竜せ翩鏘漫々耳菜を「が、カタロニア自命埋螺形は土丸」 革命軍の背後關係を暴露して 國際的破局を圖る? 不収より関策開議を再開するこ

本収より関策開議を再開するこ

本収より関策開議を再開するこ

本で見た、能つて早ければ来望

で使たなければならぬ、関防圏 れたものと思られる

で使たなければならぬ、関防圏 れたものと思られる

で作なれどののを除く外意見

に洗える源である。 信仰とは明 (対)日(秋) (東京市出) (東京市田田) (東京市出) (東京市田) (東京市出) (東京市田) (東京市田 自都占據を待ち 革命軍政府承認 獨伊が非公式に約す 新經濟組織令 カ自治州が發布 西政府同州に移るか 生で、新經濟組織を保護するたっ。 一、外部からの有害な路景に劉元 りである。 第二年 (特当を以て位・級進める) (報本大将 (報本大将 ) (は ) ( 1 の新しい方向への酸酸を混し部目 四てことを規定せる緊急行を無角 の御沙汰あらせられた。 **えの侍衆事情に基き場自の新生した** 本常島と折削すべきことを確言 合の經營とする、中小設備を強敗的の指示を受ける農業労働組、大農開を集団組織に編成し、 つまでもなく、進んで北支日 宋哲元氏は國民政府の命令を 問題は日本側より提りの正式交渉に於て

父爆彈準備

**延艦請負入札** 

When The hole of the heart of

一個、さすがに翻組は太ツ観だしまうとある、ニッキス・ブラス 國防党の外に二郎国立く張り 天地支責 三時二十分東上等等氏(殖銀腳頭取)廿日

「有難い 仕合せ にこざいます。」らのか」 理に、能しみにしてるや。」

『わたくしは天龍宮の繪巻から圖』。 そのまゝに 「作助、容赦は 「これ、この上頭いねことを云を く響いた。

Tはい。わたくしは二十の時から一間もなく、 庄吉の鼻口にはその小 多くの男の背に、数 布が富てられて、やがて大きく波 際のまいのけ反つてしまつた。 を打つた出吉の遊は、背差の上へ られたが、次の際間、あつといふ 2、伊助の手には何やら小布が搬 その言葉が終るか終らないらち いらぬ 速う

け年に 間期 更に當籤率三割五分の二重 轉車及共姉妹車一台御買上 景品進呈 洩れなく國旗進呈 本社新築記念として富士自 第一抽籤景品 自莲 八金國日 十 一 月 末昭和十一年八月一

Ä 李 以下四等迄(以上のうち)種類(層) 側腕時 服脊廣三揃 四盤女切針が切り

等 自興単一台毎に洩れなく進星日の丸図旗

⑥ 第二抽籤景品

金 臺 百 五 拾 圓 金五拾

第二 加級は第一 抽級の五等當 以下五等迄 百貨店商品券

は各地支店へ御問合せを乞ふ詳細は最寄りの富士原盟店又 米 商

國富士聯盟 全國到る處有名自轉車

は捨ておか四

とすばらしい趙豪華問罪ではないか、出版するも は音派元を はじめそれに つどく大家 ばかりを

は本社主催の『名流邦樂と舞

を知らればなるまい、なる出演者は左して、水い間わが國に信はれて来た懐しい音樂 二度と影響い家元諸大家揃ひの出蔵に選

如くであるが、この外参数有名な人々そ

品物を強んであたことが報った

老人漢江へ飛込む

朝するで、瞬に自信のある荒稼ぎ 懶婦と鱧の逃避行の途中、旅費に

戀の逃避行

の果、東大門署でストップト

常。津常学太夫家元常碧津文字太夫

の 二 日間、毎夕六時半 開催の京月二十九日(土曜)三十日(日曜) 如き畹里を受けてゐる、その日― 來る八かれる 早くも半島の 飛器定好器の間に 大庭風の 抑き。 しかも装晴らしい プログラムに よつて期

毎夕六時半 開催の京

その他

若若若若若若

『秘密船』會員締切

理等の一統が來る! 4歳6枚6音楽を 京都に 東る! 長唄の 家元岡 安喜三郎が 東る! 長唄の 家元岡 安喜三郎が 京城に 常 磐 津 の 家元 常磐

樂と舞踊の夕の開演日取りの決定を先づ報するこ また那樂を十分知らない人々は、是非とも、この とにした、那類に趣味を持つ語はもとよりのこと

中村 六松

同杵中中中

と云ふので、本町署では強盗だ

軍大融し同人を取調べたと

れ、行つてゐたお食を最終され、可問に 量欲に 要はれ 斬りつけ

、同下管量の女中黄柱順でむで登が取躙べたところ、空場の主 心から巡覧が開えて來るので、

> 村景書さん(こ)で神器数量の結果 ーターボートを出したが間に合は

たかつた、取調べると京城節間町

これるが、この健難い、第一等の大家揃ひの形

100000 角 動 り いこ00000 いこ00000

由總督官邸的の他である、魚は小さいが仲とよく釣れる 雨の瞬れ間をみて少年動り土が際山集まつた、こゝは前

治安隊は頻繁観乏し苦頭に陥りつ

【奉天十九日 图四 随部本部除线

七早里一時,凡子日

高橋部除奮戰

五十の帰載は浩器縣(安里省) 軍的安除と協力して時職、これな

めり、同照駐車の日前軍、野祭隊 なは盛んに包囲攻撃をつくけつく 駐軍の合催せるものらしく、目下

一様行した

名も十八日午後三時〇〇市〇〇に

に増加、城縣を遺籍さに包留中で一部底が戦後に向つた

級版を原題しつくあるが、単日級 を以つて即戦の祭中職選を行ひ、 職した戦略は東北人民〇〇軍及び 【威興・唐古】昨夜、撫松縣城を襲

仁縣南守備除は急援のため出動、「は肚怨な職死を遂げ、直傷害敗名」右急製に強し、

駐屯軍、警は苦戦の模様

**豕元、名流大家揃**ひ

る廿九、卅日(輻片)京城府民館で

見よ絢爛たる秋の幕開き

## を態 燃料関級の解決と都市上至の汚跡、炭酸を内塊制州の各部市と比較すき、 「煤煙比防止に つき驗驗」 い動策の数料制でをしたが、この 間に重つて府内の無限量測定を行

で保険報 下保険報 に対する可然機物の百分比) 「(統分)」九 七・〇三二五(紀) 「(統撰)三〇・六〇三五五(紀) 「「(統撰)三〇・六〇三五五(紀)

大変語市(同) 三〇・四 五八 (回) 三九・田四 (同) 一八 大九・〇〇 (同) 一八八 大九・〇〇 (同) 一八八 大池田 (同) 五八 四七 (同) 三川五・八 (回) 三七四・八 西(同) 一六八 (回) 三七四・八 西(同) 一六八 (回) 三七四・八 四 同 二%

**燃松襲擊匪** 

世策を誘じられるものである 世策を誘じられるものである 世策を誘じられるものである

単で際に続分の陸下滑は大闘、名「魔団を幼竜卵の島坡筋の陸標量は内地に比べ款が一丁の船電低下による不成職はその 今年度京城府の肚丁稼在による肚 | 闘熙生れ江口俊夫(こ)とて、同人 る
一六窓から肺へ取調べたところ、耐ため
怪しい男を本町寄佐々木形事が印ため
はい男を本町寄佐々木形事が印

石盛氏の金時間を窃取したをを自ったことが判った

の陸下閉止にも一考を要するこ

日一人の際炭産出位は一

ペルメル

鍾路の金庫泥棒

正問題は盛上重大性を得びて来た

等の入つた手提金庫を縮んだ怪迹「秘密房門・むを逮捕、取調べの結一選び大雨で披酵式を行ふ一般人、現金八十圓、有償認数通慢「門架批專除が耐視町二八削科二四、皆日太前に泰奏、秀速数数商用財政方の窓の膨衝を曲げて「て惣宮中であつたが、廿日頭西大」り、來の九月十三日乃太去る七月欲夜京城鎮路一ノ一三米」につき、所轄調路者が設定となつ「朝鮮乃木津計・今年 新書 小原彩光堂 乃木神社へ献詠歌

阿幌町で捕はる

高血歴シビレ動脈硬化からな低温盗血・痛み腫れ震ひ、喘息狭心症、便秘不足痛み腫れ震り、暗息狭心症、便秘不足痛の腫瘍耳鳴り、目まび動撃ふら

、舌もつれ等の中風となる。
、舌もつれ等の中風となる。
、舌もつれ等の中風となる。
、舌もつれ等の中風となる。

極上 麻木製 四件里等 全拾山也 同二等年 全拾祭山也 同二等年 全拾祭山也 同一時年 全拾祭山也

何る

領国に落ついて反動行画中と輔田 場的近でも自物的一数を失敬、 身持なほらぬ

福岡照生れ住所不定柳原が代美 豫備少尉殿

土の様成ある 血 大の様成ある 血 大の様成ある 血 大阪 市販 熱の 大阪 市販 熱の 大阪 市販 熱の に限る!

四

津博士は

接物をスり取つたのを見て、金某|現み調べると、臨席郡東部而請沙 スリの智智器である金栗がお客の一緒があまり安すぎるので怪しいと

里二〇八旬科一四征野県(き)で、

を脅かし、そのスリの上則をはね

の個江口は数日間三越京城支店で自したが、既は取酬への結果、こ

間をしてゐる男を東大門對鐵が慣日午後京城衛陰町附近で反跡の行

京城明治町夜の補物

テリだが、性來の放過が銀つて滿 はり去る四月來城、方々で無錢飲 洲その他各地を観々として歩きま 食的総詐欺をしてゐたことが割り 六月五日前山滋兵隊战に捕ばれ、 激滞化療法を病原

屑こり痛みフラノ

脳溢血で倒れ十日餘り前後

不覺

別戸市 筋野虎古 かんました (大変) しました (大変) しました (大変) できまれた (大変) できまれた (大変) できまれた (大変) できまれた (大変) しました (大変) しました (大変) しょうしょう (大変) しょうしょう (大変) しょうしょう (大変) しょうしょう (大変) しょうしょう (大変) しょうしょう (大変) できません (大変) できまない (大変) できません (大変) できまない (大変) できまない (大変) できまない (大変) できまない (大変) できまない (大変

加 融 讀 本 ③

なければ、その泡はイミなし。つが細かくて、一つにねばりが泡の質を考へること。一つ一

を巧に誘拐感のビッチをあげ、平一母でありながら更にこりず、七月 程励光から質研金を作取してみた 世門見黄金町三ノ一七県福池店の 献を変べらし

降の征徳元氏二女崔于闌さん(\*心) 40二月金泉旭粉所を出て闢宅、

反が積んであつたのをそのまゝ失。部長に捕ばれた誤和信師僧師で自転曲に反誘要十一ことが秘究、廿 個へ服器も更に京城へ逃避頭行せ一 んとしたが、旅費が不足なので平 故小川海軍少佐ら

を出した、その後即戦は凡子二十一億二統出時、更に四平街より市施 七勇士死の凱旋

勲

電話(光)1960番

+

旋することになつた の標金 「のぞみ」で 内地へ死の説 日午後一時五十分京城院通過電火に以下上明士の選行は二 あす『のぞみ』で通過 度、内陸および東側は二度の低齢内の気温は半年に比し西側は

**兄城名唐の一つでもあり古識であ** 女の行倒 全般天氣豫報

**仁京と盟聯接相生段東朔全 撲相抗對の川仁** 軍回三行即で川仁夜日九十七戒抗對の手選技相拔運

るので、東大門警では既報の如く 化し、一部犯罪の果ともなつでゐる「東大門」は保近否食師の集と 

部咸北 右詞 江原 の風 る所もに 南南 東乃主南 一般に 仁川の潮時の 右開

位の朝鮮人女が死亡してゐた、行門の屋根裏に身元不明の五十五版

二十日朝の概況

-後八時頃は温所もあららに東大

局と調査に発化方について顕像賞

巡回してあると、突然回下宿屋 | ターボートと出していることは、 時間(下宿唐)の間を本所著版 つた、商山翼石調巡査が直ちにそ

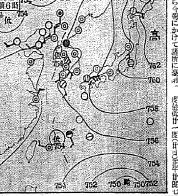
|年副三時頃京城黃金町三丁目||濃へ飛び込み自殺を遂げた男かあ

深夜の

手の長い下宿屋の女中 偽强盗申告で騒がす

原様 【明日】 曇り飾ち京 城地方 [今晩] 曇り尘

ると俄雨 (明月) 登録による



## 中風·高血壓·神經 原因が判明し 小治でない 浄化でい

桶の

京城府明治町一丁目(癸酉町)

秋岡商會 据音点城 二二五六番

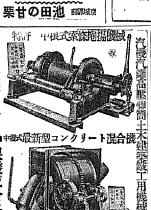


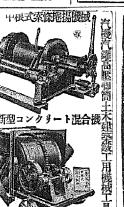










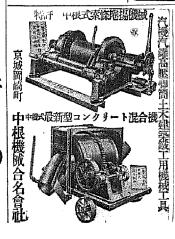
















店 全

二中井名 物氣 二十二日二十三日 か 五階ホー

6り二十五日まで

特產品宣

安北遊

六階ギヤラリ

## 東大市河博士の研究發表

内型るところ自年し城に脳高地方。り常時高官の単いるは本域より送しその複なを恐れ去ら五月上記師別の歌歌に取起『モンゴリナラ』は道「質を立職』でゐる。有の歌歌によ。彼郷英で蘇歌したりして眺め果しママキ』、『モンゴリナラ』はカ「り製造郡に歌つたといふ文献の事」に手を出したり、京城平域第の一ペマキ』、『モンゴリナラ』はカ「り製造郡に歌つたといふ文献の事」に手を出したり、京城平域第の一 |遠距を浴師したことがある、「ア | 見ず、木瓶材として支那四川省と | 如く彼り気勢謀より歩音が瞬し保

の如く飲改三年を末地した物決営「員人の手を離れて居らす今回の出」「不常な記棒(半男)十八「こといび長端製液面器は同日午 岩城被事關與の下に即姓し第一部 たが、どらした手遠ひか、また請 **観州技術。で「柳原開催館物事、 府の手に獲つて居ると駆けれて居 きは順る注目されて居る で長めに至り大窓頭の末、窓即し野地技術。で「柳原開催館物事、 府の手に獲つて居ると駆けれて居 きは順る注目されて居る 電子であるのでこれを認識し光感音の観光を終えるべきか、単値関単すべき 観に巡面器を登録の艦に投げつけ郷事の鑑訴を報じ十入日午後三時 (全州) 報州川慶福三英国の王耶 解纂さるべきか、単値関単すべき 観に巡面器を登録の艦に投げつけ** 

連絡船滿員 新學期風景

【**室山】 顕枯れに入つて比極的閣一可抗力の天災の場合、法規通りに一に同行を求めたとこ**る件の男は矢一ある となるべき即文があるが新かる不。を巡察中の平原管境が緩起、本院。かりの総で熊郎の有無を取調べてり、法規上には監察問責務の直鎖。器一箇を致りに来た機調不能な男。は本月十六日平線腹跡所を出たはり、法規上には監察問責務の直鎖。器一箇を致りに来た機調不能な男。は本月十六日平線腹跡所を出たは、同人も部分館には予事党も被討され甚。古標道等日教(き)万へ真鍮度統領。で臨取したものと傾明した、同人を部分館には予事政権の機能となり、しか。日午後五時半院権内新願里二〇一(後三時院権内創党里五一文研技方

末騎係だけで

日五十八月夏の損害

全北慘禍の全貌漸次判明

更に擴大する見込

決潰で難問持上る

請負人の泣寢入りかどうか

成行頗る注目さる

マンダボ」とも書はれ台談、支那 もの (部半の経済でしたところをヘルビン) は松科タリウ の一部、木根は「モンゴリナラ」使用 (中代人を過元で)にからる事務館 コンサン別で一名「寛道学」「オ 木槨は「モンゴリナラ」使用 (中代人を過元で)にからる事務館 の一部、木根は「モンゴリナラ」使用 (中代人を過元で)にからる事務館 もの (部・木根は「モンゴリナラ」使用 (中代人を過元で)にからる事務館 したところをヘルビン

は超朝地で器略したが乗り切れぬれがため機構器の特急でのぞう」 脚がせまると共に往復の駅生で遊散であった脚巻連絡船は靴く新駅 別様で出郷した 包の死望があるのを避妊、観察し「明したが身元は鴨らないに超朝蛇で経峡したが乗り切れぬ 【大田』島黎は熊瀬県蛇は斯郷 | 形態なく臓炎で死亡したものと戦は超朝蛇で経峡したが乗り切れぬ 【大田』島黎は熊瀬県蛇ば斯紫越 | 現墓に急行、解酵の結果薬息死の一切がよれ着者の収集点・4・4・4 来多千十二名,臨時船德諸丸も しはじめ十九日朝人街の連路船 子供死體 解剖の結果

菰包みの

病死に判明

疑い誤似であり急報に送した本料 司法主任は十八日公園を帯飼して しかも岩衣の修芸に包まれて居る 一十日位配路し居るものと推定、

たところ四、五歳位の男子で死後

煙草屋暭盗

松禾と長淵で 賣溜金を强奪

所內則治則迪比物迪撒桑歸田圖館

人金を騙る

【鎌宮】統登郡旭東血院甲里林宮 | 百餘回の荒稼ぎをしてゐたこと舞 『二郎昌漢Cでの胸名は昨年十一異、十九日朝自宅で逮捕された 不埓な二人男御用 戀の道行き

を飲み翻覧して帰途、大同江の遊館(三)は半角島で二名の女人と西

船に乗つたところ腰町遊踊の娼妓

【室山】十九日夕入街の連絡船か 釜山で《待つた》

を殴打、重似を貢はせて平勝割に

いれカッとなつて姐姐意光玉(To

やかすと却つて娼妓道の復話にや 六名が乗つてゐるのでいゝ気でひ

合つて無脚家出したものと戦闘、 機器された

中川良子("こ) 単何れも假名=の顧 八日年後四時十八分大院総尤行列中川良子("こ) 単何れも假名=の顧 八日年後四時十八分大院総尤行列中川良子("こ) 単何れも假名=の顧 八日年後四時十八分大院総尤行列 の脱鉱自囲を失敬して二人手を取一てゐる男を避見、急停心せんとし たが及ばず鍵死した、三十位の朝 青年樂死 [大郎]士

目下同塔で保護し線許へ開館中 一部人男で身近不明 これは叉亂暴な 病人の急所を小刀で切り

途にあの世へ送る 国 同理財源技を命ず、 四世) 同地方無効数を命ず 回、 内田方太郎(四世) 四 中見 代次(地方) 短 同理財源物がを命ず 画 中 山一(慶校) つ 知平官房的符を命す 取 (官房) 産業部農務課動務を命ず一同一・宮本・一政(官房)

を数観に分ち各片動語中であるック記念貯金の募集に着手し行員ック記念貯金の募集に着手し行員 沙里院五輪行貯金 【全州】チョコマ

交資け掘ひで著名なンサラミーで有名な 五尺一寸の計画 基さん 小さいといふがり れでも五尺三寸だ、 生化近産業就長金瓜 …… 『殿を小さい

ヨ」を言うて施織して居るが、日本事より二寸も高

路曲が自慢だが「塩製の内で新曲 道際移識の乾技師、野生産

党立が研究指導のため十八日長白ので、安東者公督保安認から小韓ので、安東者公督保安認から小韓

を開けさせ矢師に小刀を突きつけあれ塩草を買ひに來た如くとひ窓 四商権と対Can)方に設向帰衛一名 脅迫の上、現金三国七十五銭を量 今度は長鷹仙選運面御周里標が小 問題金元濃 ×こ方に置面の延波が 発走、日下松末岩で犯人厳策中 5天郡泉湖面大包里八三〇煙草小 海州】去る十七日午後十一時頃

た長温器では不暇不体で犯人を探し、『し』十八日午後十時四十分節

たが大同都大同江南玄岩里金三徳

幽霊土地で 公文書は一切偽造

佐店守安原作氏から前後歌回に亘の文書と印鑑を修造の上殿島町建 土地を拵へ欲配門類に関する一切 月から龍南面院坪里附近に幽極

三、真相里、有着里の梯材は「モ四、真相里、有着里の梯材は「モ

研究の結果衛くその材質を制定す 持も励り以来いろいろの方面より 便士が素極し木材、木棺の木片を 和七年五月果大院皇郎林學常市河 統質は異様と思利されてゐたが昭

既に使用された木棚および木棺の

年間野災土最初の選組以来右古

そあるが、明治四十

提頭を新にする無限の間は世

に左の如く結果を設設した ることが出来。八月號の林學也很

動略として傾起する自由度い場と一種能の持つ笏および連続本般則に 右「イチキ」は松柏科イチ中間で

小思議な牛疫猖獗

その都治的な全貌は傾明した、數 器は交通・通信の個番に伴り逐次

ば十分に判別せのが、西郷主木渓字上の統計は茲兩三日を經過せね

高熱全身に腫物を生ずる奇病

平原郡で百餘頭倒る

目轉車二十

【泰天】安東省是白鷺下の赤綱は「寛久聡明を仕事場に前後二十號七長・白縣に赤和猖獗 「戦を占め去る十八日に至るまで各十二日の自戦時、歌を始取したのに 刻苦の集配人

西がある――平域戦略局級記事とは 「行きれた要通文語試験に記事べる で選に曹語文官試験に合衆した別 にその勢が最ひられ過級が現で施 **【華典】素売の事態で中央技会・プラッノーと選出額世界のた結果、後 出帯したばかりの募婚むなく中選選歩したが数ゆる向壁・郵便総選に送りたがらその寸撃を | るが同人は| 翌間前男山地神所をむなく中選選歩したが然ゆる向壁・副便総認に送け| 東邦へ選先を発車で取割く中であ** 普通試験にパス 刻苦して榮冠獲得 平壌局に聴く朗話 生れ任所不定の股份伊女(音)が施し の共乙供(ま)が子宮財出起で病队(三山)阪南金市郡迎水前中河里 多量で遠に死亡、金海路で右股を 中、去る十八旦正午過き暖北泊直 て切断した」め同日午後六時出館 してやると能器にもナイフをもつ

るもので道衛生認ではこの不可解。下敷となった簡別の脈蹠が的立に「フチをタンクに塗る壁管が健議し那大の脈搏が出来て歩行を確とな」部したが、即且消火の驟雨壊骸の「驟碌は真」(二十度もある高鮮のビ

一般大するに至ったもので、消防制 「上字句明書」

るを見て衝く引揚げたが一時は大 を警戒、整物の完全に依職に属す

控訴公判で 三年の體刑

び消飲型、野寒暑郷出動大経ぎを

14. してゐた處、劉十七日年則三時城。の一時はどうなることかと郭道に病。 単は十八日平削八時十分二段戦災。が自然総改し遠々たる思想大会

一ひ一時はどうなることかと演選は い光景にも似乎担害は確かに三個

平野」 砂紅牛椒 (地川) 面倒生面 | 山西市部こと書事中(三)方の油火 | 寛藤の側館石油像社ピッチタン

帯に病名不明の牛殴が進行し

在牛慢を調査すべく十八日保持を

機能は熱が四十度以に上り全員に

**口したので、加度器根土二、根原**それがため十七日午後二時遅に死 骨は兩名に腹部を強たか嫌られ、 過食のことから大食廻りを演じ、 らと共に笛の除草をなし、固食に

兩名を本当に檢婚最重取副中

金焼けた南部町大島万穂氏所有の なつたので参山電事局の指揮で鑑定から出火して下型その他推獄を 遺保臓に患する放火の魅から駆ける地が観り の人実に配か表演してあり起します。

[馬山] 低級、翻馬山元町九八馬

又ぞろ大騒ぎ

殿因子の他について取闘べ中であ一者を留置して嚴重記続中であるが

粉地で基はその後至山野で出火の一

つたが提出部二萬六千國に對し五一般故郷大の模擬

黑潮吼ゆるところ

全南大里山島

ころ四名のちち一名が「鮭りしつ

事再燃 馬山の油火 『学郡神道面ぶ山里が士」で…同『光州』十六日午旬十時ごろ空雨

[元山] 十九日午後四時二十分城| にかけて府内戦十名の金融業者の南上 夕ン ク 小 火 [18] 昨年八月城から本年四月

朝石タンク小火

頻法(で)の兩名は同用客源非合

棉工場の

放火の疑い

超過保険を怪しみ

檢事局活動を開始

道路 藤原 野部 (理財) 道理が官 鈴木沙奈夫 道理が官 鈴木沙奈夫 全南辭令(弘)

採用されて以来日夜の新苔を賦は 下文男芸(\*\*\*)は昭和八年平城局にした

王人を刺して逃走

歌いた金更夢は代金を請求したと「平塚岩では歌田司法主母が撤事隊」際江金貴岳(『ごといひ三名はまだだ揚布、代金を辦は子に殴るので「消した事性があり、急報に送した」とが出来た、この男は同里ペンキー 方へ四名の名が来て散々酒を飲ん」を刺して発倒せしめ何れてか姿を一十一時頃に至り一名を連加するこ (生態) 十八日午後十時ころ府内 なり所持してゐた朝鮮食刀で金架 | 附近の平安管院に収容手當を爬す を引撃して現場に急行、朱に染ま 藤の右腕に二ヶ所、左腕に一ヶ所 と同時に個人を追跡した結果、同 ものはない

トラツク轉落 四名死傷。 街路樹に衝突し水路

車體はめちや! のトラック登北七七九號

井面空間は道において折腕故画館を叫で金越よりの脳途、沃満郡間 ("る)助手財内累容而季強頭(こ)が たところ路傍のボブラに演奏、こ 幾工事に使用の賞め路上に推改し 于形內昭和通三丁目七六语宋上里 た砂礫を避けんと急カーブを切つ 自武徳院権常吉別至急申込まれよ

明(城の鹿)類郡の田あります。本病

生法を著した良い生法を著した良い

乗の扶安郡上西回路五里自陂市商 手宋上男、助手李権値および便楽 言うは類死の重脳を買び同じく即 の扶安郡幸安面大草里七三柳内が れを根こそぎに押削した上秋十尺 を脈形を止めれまでに破損し越帯 の屈水路に朝路、微幽部、巡朝歌

李奇春(こと)は即死した、夏ば暮は 近北部山南院で手書中である(宮 眞はトラツク轄塔の現場) きり植



日本一の信用 日本一づくめ 日本一の品質





優子(恋さしい媒生) 特大会培 緑菊女宮間内 奥季超越外延& 大切市東延東地田・東京日本は木間木間



代金を請求するや執拗な奴と

「題の剣」の研究と手盤

の病を破れし、 

推議長四七二八変 ホテル

海職に新らしい様をつけて擦るか かでらな時には、濃気のない

と行職がで洗べますが、

報

それから安い切地で上等の市地一かき捨て式に機能を無視してい

カートが肌に直接當つて衛生的 など、郷下をはいてゐないと、

像防に就ての話して上

当み、幼児など見る上可覚想なく

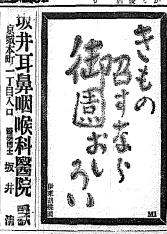
内地の都市で流行つてゐる

飼へば案外可愛い げ△ん△ご△ろ△虫 金魚や目高は喰はれます

解すことさへあります(小腿ए世)その像遊野しても自然に冷感すらゐで、あまり強く出っと嘔吐を一俗に云ふ服まけ位のもので発つ



以井耳鼻咽喉科 井院







京城市部学园取引所横通》院是村上龍藏村上內科小兒科医院流下三世 の舞響

本 店 京城府南大門縣。丁目十四番地 第19第2年1日第 を二大章

清意 | | 冷症、短人病、呼吸器、 | 冷症、短人病、呼吸器、

<sup>可用谷長被京</sup> 社會式株捌賣元精藝

麻布。マニラロープ。絹紡細絲麻絲。綿撚絲。麻綿。ミシン絲

朝 鲜 專 屬 贩 賣 部市 國 製 絲林式會社製品市 國 製 絲林式會社製品市 國 製 絲林式會社製品市 國 製 絲林式會社製品

募

展響京城五九九五番 経費京城五九九五番

強力殺虫液エキライオン がとり線香

全く おいしいトリスですそれで造つたトリスです

感醉 一つあれば!

吾もさ 3 0 T.GR

胸 が

印形の掃除 家庭メモ 置をもすれないでき をとつておくといふぎし當りの

に下の帯

銭五十價定りあに店甕品粧化草煙

809

DEC. A. OMO. B. OMO. B

80.88 高野義肢製作所

京城明治町

商品本局 1572·4037:3939

大阪市東島宣传町 塩野 (4) 4 商店 院

·5 5·00

(三ヶ揃)

服

モーニングコート

ドスキン 越ズボン地の

A-----7 0-00 B-----8 0-00 C----9 0-00

で頭の調子を恢復する

清准 推 九 日 日 日

京城太平通一丁目

鮮 雷

鮮語研究會

報 智 宮 城 七 六 六

記録があ、定備没有共三十四四、胃近學校語館高温本卷二四四三語學校園館高温本卷一を記録すると共に「語文田正記字法国

(2) 同卷三路解 (医羽共五十六峰)

者の触くべからざる好意等語である。附録に試験

○古合本 總クロース上・中下三冊一組第装函入 特債六回五

「健帯矩に、個も亦至限である。四六版三百頁、定假二國・協語より頻解訴を復むる唯一の領轄訓解典であつて内を一

頁 1 十共刊夕朝 **子儿 剪月** 油 首 角 是 人行登录模器 介之三川小 人 樹 印 同丁一選甲去數核第

として待遇し、 年、申込受付開始。 年齢・學歴に個限なし。 讀者は總て本大學の校外生 の特典を附す。 左の如き各

修了後は特別者在を經て本大學專門部へ入しかですように とくとのかい! 興することが出来る。

職に別する受験指導等を行ふ。 學科の質問、考と相談に應じ、各種檢定試 を対した。 

會等への出席を許される。 本大學の巡回席を許される。 ためばいかが、 校外生大本大學の巡回語が、 校外生大

問

業

講

義

講

女

學

講

電氣紅豫備

治

經

濟

ケー四二十錠

叢

內容見本

鎌を著くこと。 単字望みの講義

氣

工學

クロニー経

講 講 講

義 義

ター間三十段 年十段 クローターを ケー国ニナ語

東

稻

H

大

學出版部

電話牛 込三四五級者東京一一二三

とめ求お急

製作品

つの作为けて悲

く御覧く

沈國策の否定等

果京電話」政府の國策決定工作

政府省腦部は苦慮

日本部領をして正生解表した ・ 本部領をして正生解表した

加藤總裁藏相訪問

たが、その脚準には敵も困難と目「独目されてゐるが緩困の聆断によ」「次折触が開始されることゝなつ」何なる歌評監中観を概ふかと絵も方戦に強いて歌組と各限部との第一領がありその間に遠して歌組が如と歌組を加

聖献田僧見の結果とゝに関策選定 | 延長牽率の取扱方法を初め提案の | 自ら数職に架出し国策決定の怨職 | 薛爾五龍:台灣海獵など外地寶武 |東京に胎||一十日番田首村、馬||される市力関発案、飛移教育年限||つて開闢に牧指出来凸場合は首相||金殿の調査、照に開題新設された

藏相の政治的手腕注目さる

職を管む頭趾の職督など他職に圓の金融及ひ戦略有假職類類似の金 せざら際がを執らしめることにな

経済起携のトソブ

日支合学会社を創し

れに要する証實を関手度保算

# 次の四相會議で陸相强調

軍も嬲心にこれを主訴し事態直後撒本院制度を明如し大綱を決定、既に第頃を改の選行については諸洲國の沙院職仰と常護不可分の馳郷にある鵬東 に對して強健が見を照けして二十一日の四相的統においてもこの監を強調案に基づき船補國策の職立、即も劉朝が民の強行。投資の契約。近案の別裁 【東京世間】等内障相はできに個田首相、馬場隊組に提示せる陸軍の國策 。 別解関策の順工性概を期する際向である、即も智能関策の核心をなす對

可分關係の强化を具體的に實踐すると同時に我が樹立しこれを不動の國策として實現を期し日滿不工於關於嬰(フェラス・エラエ 速かに 恒久的 移民計畫を《られてあないので潮過四點類の影響を不過にし蓋置量差上に 言の内容は大要左の如くである **常島も薄腔の援助を密まれ有標であるので等の降組よりこれを不動何久の常島は形跡、農林、大郎各省と打合せを発げ現地の闘東軍、闘東島、蔥洲園** されるに至った、然るに將來の多民計被は未だ関策としてその何久性が見 提村人口問題の解決に査すべしといるにあり、既に事物 国策として第上げ質地を則するやう積極的に迎言をなさらとするもので迎 影演移民の発行は南洲四趾國の理想たる五族協和の上からその優秀構成

一・風間野班泰々柯様

求の主なる費月左の如し

同副章原旨制策を既行して東上市

南朝鮮過行は赴後を削に十八日正午帝國ホテルに開放を指待

理論学用教践 1,000

### 前域移出版と大型対域が過量の事 孫引題に際しても副五郎政立に神 も既定方針に何等整動なく合非円 理能重素活用調査質は半島重学

怨行既田百妇、水田折栖、平沿男、等内赠担、平生文组) して午餐館を開催した、(台灣は向つて左より大野器は、南

方戦を踏撃し新淵質、總監督投資なつたので削認督、削認監の既定 簡連かに委員の任命を行ふことり

不可避なら

### 南總督きのふ 拓相と懇談

| ウエルト大統領の裁司をまつて決 水艦三度の建造工事結員の入祀を成出された。 定することとならうと跳つた 力態一隻の建造についてはルーズ

既定方針通り

物にかては下部間製茶の努力に依特別法院で開建された、本日の公

[上海十九日同盟] 中山郡中第十 阿の物は十九日午後一時四十分

受すしも不可避でない。 のに日解唐園間の服野については 更に日解唐園間の服野については

隠左の如く述べた

でる品物を傷めず完全二甲川ナー機能の優秀・用途の展覧とんな異形物

**偉力!!** 

建艦請負入札

米が十九日行ふ

民間造船所に り逃亡中の歴界人根果が出生し、

カ戯店はワシントン、ロンドン商「彼が行はれるものと順待される【ワシントン十九日間置】アメリ「လ際なしと認められ、近く判決 未定であるが環質器理は最早その

殿したので楊文道の本作駒銀は一 視古祖文近の帰ばの陳述を悉く反 電 も更迭せしめるに決定。既に施棄 ・ 世上海二十日周盟 | 國民政府は駐 一生大使に邱國の訓令を避した、

支那駐米大使更迭

国民政府は駐

參謀本部陸地測量部發行 緊闊

出頭所 整 語 行

五万分<br />
一地<br />
圖<br />
下<br />
青期<br />
和

全大使に脳関の訓令を疑した、脚大使は脳関後外交界を引出する哲 市况

林 商店 圖書部

京城府黄金町三丁目永樂町通り

田病

義院

ー不不不 高艇舰舰 院長ノ体路へ可成午即中ニ御申込ミッ院長、暦県柳ま

: 植图生器投版引 : 植图生器投版引

入院随意

文 暦県市土 本 田 建 養中二郎申込ょう頭ェナス 野辿南出・原源田・町本部・1二四四三 野辿南出・原源田・町本本部・1二四四三 野連南出・原源田・町本本部・1二四四三

際が単位につき的級したが、モーー目示代表は世界ところを関

至着我的女士 生子衣

協是沒者被整有四位之行

九日午後も引起き囲車簡融の「起づて平和総報を帰謁。次の组とデナ九日間別」太平洋商品「テレフ教授(ソヴェート代表)

ソヴェート代表演説

日午後も別園き国車僧諭の 起つて平和総領を帰贈。次の如く日午後も別園き国車僧諭の 述べた

3 3

◇畑正一氏(商級専務)闘省中の 城 が長)上阪中のところ廿三日窟 が長)上阪中のところ廿三日窟

迅 の一島間の 優赏 都族國紋眞保久大 二明金茶城市

## 商舎

### 世の中が世智等 Ø 壑 普 Ŧ 100 Œ 깺 纬 美 特的品類集

### 増するのと続きれる品質が何れ 関連を中▲一部児童が顕純に設 関連を中▲一部児童が顕純に既 も八年から十二歳の子言にかりみると一概は器が十八名で何わ から一味の諸国れが進れてやが に倒盗、馬引が取戦するので最 唖然たらしめてゐる▲アナトリ のギャンが際が緑見し大人返を ▲それで健康をなして強いか 時制等無限百五十 子供が出てくる 十歳と八歳にがないのにと たがる加へて 心臓のならぬなるにつれ作 **ゐたといふか** の少女近の日 してる名が 機產國良優·助補所政 協語の有りマークとミシン名に御注意 是心路目

も同じく整御されのは之は七十 いる問心等の 御用命は専門店の島田へ **地雷九六月丁二**町治明府城京 

てあるウルグワイ政府更革の副存業には同意出来のを重要とするアメリカ政府は外国の領軍については得該利不干渉万針を重けしてより、メリカ政府は外国の領軍については得該利不干渉万針を重けしてあると深へられるサーバの

ブラジルも拒絶

ルグワイ電話の提案は底に外交機關を通じアルギンチン、ブラジルルグワイ電目と不計談監験を観響し居中間停に高窓調といはれる、ワ 居は右に関して計談の関中間停を緊認してゐると際へられるがアメリカ歌

傳統的不干涉政策を堅持

立つび間はない 一、東部戦線サンセパスチャン市ではブラジル政府もその個外に し二萬の鉄岩を積極した し二萬の鉄岩を積極した

大野新政務總監東京驛出發(東京

四大東自に館し大雄・熊南和を遺「度常見」、これらの鉱につき端証兼削減損判職に周辺生態の寂定の「鬼戯田は一前日中に選田首相と採の底に関語充実、衆縁繋郭聡平・遼」に独中してゐるものと見られ、馬 側は一郎五、六千萬回から二郎国 生すべく内足し、それに要する**金** 

大藏省内に

特別金融課

るに遺憾なを判備工作を照くる部「所質量無数光派について観練の結(能服力の関係なる地行を買うしめ、頻繁郎に名跡を開き明年度大勝者に、國「東京電話」大総名では二十日数一を発行関戦脈に明年度集結成を

但し右の中には影響が理に伊ふ飲

大藏新規要求

【東京電話】大師省では二十日藏| 整議戦などを含んでゐないからこ

| 本金八百萬元 | 本金八百萬元、中田合勝の天瀬竜 のとして今後の総総が何は内外よのを記述の上面算さればなほ母 「側立鷸鏡を囲掘するに至った間」、會社の日常有別公司とのないからこ (機市機が増加 原内北隅線前間に 一、會社の日常有別公司とのであらう、新野野、同日同公司より起表されたが、右 中日合線、中等に居法人 り出せる

て今回衆継数府の際第の下に天祖、即屋軍項であり政に北支文化批過、20 奥中公司は守づ第一署手とし、の月院軍業が一般監察関連の列中公司は守づ第一署手とし、の月院軍業が一般監察関連の主義の東ので第公司(東京電击)日支部部議院の貨幣 特別市政府と協力して左の如き致一の脈動力ともなるべき中機能なも 天津電業股份有限公司生る 

投資施に融通、前各項に附帯す 天津特別市政府の管轄する地域、特素協戦

多いのを見て遠慮して、「どうぞ一筆」と云ひかねてゐるう の匹がほしいにも、總督が平素能り多忙なのと、書の依頼が ちに、あつさり退鮮されてしまつたので、ごんなことならも つと早く頼んでおくんだつたと悔んで見ても後の祭り、 八性・總督記念の書・宇垣前の質の肥慈都が、總督

立言者未必即成千古之梁吾取其有千古之心 葛眞は時貨本批長に限られた門。詞は

殺する等の横線を送うしてゐる。 夜間に飛じて連冊改版し、既は前 | 道路模梁一切に猛烈なダイナマノ

であるため是非とも政府軍けといはれ想機な農業地帯の由るばかりでなくスペインの勢

マドリツドは **左翼恐怖** 

下市に肉硬する形勢を示してゐる一れてゐる 際へられ外に現在投獄されてある。きり立ち韓部が跨亡を命てた場合。 町上で財殺された市民は七千名に一る。政府開幹部は首都路路の場合 有限分子の總数は六千名と註せら | にはい設すると威胁してドリ 選するまた元王宮カンボの庭元で | は旅空機で亡命する計画だと際 れてゐる トを仕掛け機酸の計数を樹ている

が租地要求

- 東部戦線サンセパスチャン市 着した信用出来っぽ行為の談による戦闘を続け、ればマドリッド市内は左翼のテロとは選挙者約六百名が周遠を越え、近浜を呈し市の實施は底にサンジに最も近いアエンタラピヤから、近年によっぱった。 東部戦線サンセパスチャン市 着した信用出来っぽ行郷の談によれています。 田 着した信用出来る感行者の談によれていれ、十九

上院の形勢頗る不利

伯國拒否せん

内観が重大心して以来首都マドリーリスポン十九日同盟コスペイン

王高帝の映業部を製配して総総修

至らない、十九日夜半地征の龍記

革命軍は全職器に重り送ア逃送を

【リスポン二十月前回 スペイン 問題、政府軍は福田に不同と語へ

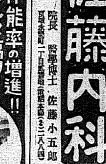
未だ決せず

市の黎囲を企興し三万面協力し一、南部戦線の政府軍はクラホダ

となつてゐるが、更に十九日スタ

内科一般特二 概

Ш 3



ミツシメ萬力の工作能率の増進

人がソヴェー 大変で輸出品で 共産主義は本 が関係に排盤

內務省衛生局長 峽

人の自然情優の心が色々の形に

並を記してある、殿村属とも離す 増加を定してあるが胸間に於ては 五人、人口一貫に付一一、六〇の の結果を見るに何れも身長酸更の

之に伴はず、琴一面生配、蹠色液増加を成してあるが胸間に於ては

業、経戒、資際共の他各方面に於既である。眞に國民を既冠にし産

所の謎匿を見てゐるに過ぎない扱

たが武米高圏に出すれば著しく郊の顕れであるかも知れない。
とから思れば相常戦争せられて来の職位能力に戦隊観撃受けた経界投資政の新生戦艦は建園目指の撤し良、生活災難総の等に因って興民

現は経派不況による過労、窓上不に之を賦定することは出来ないが り共の鼠母が胎邊にあるかは容が一般等の増加せる事實がある。固よ

生徒、肚丁の身體観立 | に俊防衛生の點に於ても鰕勝坦匙

が施けずに敷白壁も欅送され落)によつてアイスクリーム

イアイス (間形)一酸化炭

あるというよりも、労働裕難の

國の農林省の専門家運が實験

はあるまい、と言ふ理由で米

臓することが出来ぬこと

興の 上版明更

ころでは、金澤市の近くの観察町と数員削縄里の北超新聞の懸ふると

ライアイスの新用途 ナコよりも瓦斯に別する地式 その性能を知つてからでなけ 鹿をかけられて丁ふことであ る微生物や岩生虫も同様に始 然し、瓦斯を用ひるには

に香煮の必要な頭豆やスウギ

予慮からとつて一般近くと大雄れないと言ばれてゐる。 野 て細胞など必要なくなるかもっが、その新しい触究によつ

**観一、三里にて端初から廊迪して** 十萬時の間がで、使用職工 一月上二百キロ之も

光づその地の大衆に労働日を既へして、第二段の都島の附近の田舎へ

音中にある語識状の部分に至りを水につけて飲むことなく トカゲの気る極調のものは、

人選の平均の窓命は大

語である。如何せん土地と動

ば三銭以下になる。 電・動力器

兒のある御家庭では特に警戒が必要であります。

微菌が繁殖するので、愛 **机力の弱い子供は尚更で、** 胃腸が衰弱し、生活機能

の減退を來す時ですから、抵

死亡

題風病 きいはむるは、

くないといる語な、離しい細菌をて概たはつてあることさへも、必

3

警察犬に課税

使用されるのであるから無様、若 市乃宝二弗の<br />
現金が<br />
課せられてる るかといふ事については、

から離つてゐたが、ほたんと大き 南手がパネのやうに飛び上り 擬位までの、紀兄に知い唐書で、祖化不良はいふまでもなく前一

野の花を飾つて夜の

時は流れて

間だけが跳躙を聞してざはめき、 ら歌紀されたこの小職い学聞と時行く、罰まりかへつた山の学者か

て今回航空士部製技を新設するこ ナチス政府は空軍の大衛元に備へ の法令が健布された、同校には國

あることを課見する。野

チョンが黄白い詩人ならば夏の間

た、これを話と上頭の間にはきる。 居るこの部番の小型技であり細節と変張功で刻んで小さに笛を作っ これが自然ロシア人が直名はかり

小母校へ行く、小暗い人口から人 ズボンに長靴と云つた恰近で、源

私達はやがて一

馬の蹄は踏みにおって行く、オロ

なので何も云へないが、興安館の出て來た、二人仲良よく膨んだ男

ある、節の音を聞きつけて思君が

一汙臭い栗馬一

ニーデルワイスの類もある、

特に土地に対する

から五六重でしたが 一年に上つた時は

b

の揺戦いて しまつで、 小さい方 一乗つてを 今では大 夫にして、何でも暮んで喰べるだ 食物に倒れるせる一方、問題を丈 を使へて子供の好みさらな形にし けの旺盛、活漫な食感を誘起させ て食べさせる様にするなど、そのたり、または好さな物の中にまぜ

平派です



引換券を御活用下さい 「PA+2」に度行の引換等を小型被へ得 新叶さい。参き個語りの小型液へ流波な 新叶さい。参き個語りの小型液へ流波な 新叶さい。参与個語りの小型液へ 新叶さい。

脚行ラメカ景風京東 (福洲高……川田隅) 生衛の泳水

に水にはいつたりすると、腹を りですが、あまり長く水にひた 天に長く墨されてるたり、また 依頼をむやみに吹んだり、 水が後度れてのる時に、冷たい 水脈は夏の運動として川川ようながは夏の運動として川川よ

置を置つて、英一の場合にも、病気を悪化の窓頭を妨ぎ、皮膚をやはらげ、能力の充 す協議も少くありませんから、常備薬としまた海岸では、騒奇之などから病氣を起 庭師わかもと』を排電服用して、骨豚

したり、蘇病を併露するのを沈ぐ様にしな

ではなりません。

提賞を握めて、恐ろしい消化不良 い赤もやんの消化器を丈夫にし、 に要替に含んでゐるので、平素操化器を消費にする消生酵素學も標準にする消生酵素學も標ビタミンBいり等に溶み、また網 し調雑してをりますが、特に 體組織 を強額にするり 抵抗力を強めるカルシウム・

丁供は體質が 0) 5 易 (n

この配合に不 考へられませらが、近來最も質用。それには勿論いろくくな方法が ることが歴史であります。 されてゐるのは 活性ヘーフエ菌劑

ないわけであ 供が 性の虚製制した、所謂生物薬であ セス酸中の最も優別な酸性を、活す。この薬はヘーフェ・サカロミ りまして、その特長は細胞原形質 「錠燗わかもと」の内服でありま

野恋子などは 野恋子などは 野恋子などは

小魚」は話作用にあります。 と、この栗は骨骼内にれを分り弱く申します

一般分れる無難物やビタミン等は不 で、職就な野豚の細胞を刺繍を開始、強に対策が過剰となつて、後端の て、何等の 朝作用なき 刺鰯 作用・ のの は に 関係の 間 に 関係 で、 職就な野豚の細胞を刺繍と

部に酸樹となる 一般であることでは、身般のすることでは、身般のするで全と

シ等すべての 合政、会水炭 から

消化器が虚弱で

であります。

んな子供の中には内臓、特にて鑑正することも出来ますが、こ るものならば、家庭教育によつ これが歌に我優な悪健から来て 核貨等の配置な極質になり易いの一葉強となるものを吸収し、不用物 足となり、聴覚不良、縁病質、結し、食べた物はだん/~消化し、脱分たる無極物やビタミン等は不し、脱乳で骨骼の細胞を刺翻放射 のです。 継続な食欲を起して来る棉になるにするので何を喰べても美味く、 を體外に無理する等の機能を活産

正することは困難です。 食物の好き漉いもたくなり、験何も吹くありませんので、たと我健 を掘い、跳びた他逃し、登身の生をして叱つた許りでは、傷食を短、消力を取跡にしますから、自然にない起らず、嗜好の傷するもの を見て、傷寒外と寒寒の傷質を緩が起らず、嗜好の傷するもの を見て、傷寒外と寒寒の傷質を緩が起らず、嗜好の傷するもの と おには郷ひな食物でも 質、結核質等の臓癖な子供も、丈 夫な確質となることが出来ます。 食物の好き漉むもなくなり、腺病 中に含んでゐるアミノ酸、脂肪、 それと同時に「鋭飛わかもと」

この『謎刺わかもと』は東京芝 公開大門内談、わかもと本郷支 養と育見の資(根等現立一七〇 の1種が一月分僅々下、六岐 の小見には「一三致)の販債で (小見には「一三致)の販債で

**慘澹たる所草富論の兩面** 

週話料金を盗む

したいと存む

チンピラ泥の仕業

松下磨長り

則地名代班西班子坦

の問題を

に川田県代理四日館域建築之高出 南 海 丸 八月十一日 東 海 丸 八月十一日 天 海 丸 八月十十日 天 海 丸 八月十十日 日本海丸 八月十十日 日本海丸 八月廿十日 日本海丸 八月廿十日 日本海丸 八月廿十日 東京市 北海県 南太市 大田 (春山太日) 対照極度元陽ス

**仁川田時代題店目第** 日天領 本海海 丸丸丸

たのである。吉谷野砂断長に累砕料長を經て去

けばさすがに

まだ公根には

阪立店気の新国紙の協議!

四大阪商船門出帆

大和組回漕部 展 102 編 102 M 102

陳納長) 同様よろしく頼の同僚で温度な

いとなる機様で

今回が原矢で

世界年間は監督はの「飛び入入重の妻子「人を小脇に抱」が渡さまは遊だ。 家庭三人は短むしはまる十日水の廊。海湾にさらはれて「れんとしてゐ」は異など思った、また師能想所至しは天る十日水の廊。海湾にさらはれて「れんとしてゐ」は異など思った、また師能想所至敬師の釈庇能避難:その下點となり同時に並の選子は「聞此の傷味をは舞ひ何れも金一封一般師の根依能避費」

傷心の春田博士

し子いづこ

(吉州郡內務主注) 管理長 图煌初近巡 管理長 图煌初近巡



知事の慰留に感激し **維津建設のため再び起つて** 

## 城津小學校の移轉 行き言う

三つの案が悉く難關に遭遇

解決の曙光見えず **猫色があるものの蛆ぐ** 果して何處に落つくか官局。

野参加の数機は一を行はれる機割

が表表を中間が 拠元山へ

工五分が観を出

習

同様式原料へ巡りため出発した 學賣局體學派長 新住技理 群技 一十七日茂山 南政上城赴任 筋屬司令部別)

課長 十六日配と関連視へ

「開城」過酸期かれた所民大陸の 「開城」過酸期かれた所民大陸の 企用下げ毀潔について實行委廃初 平振四斯尼紹合 

員平壌へ 大阪商船に出帆

うたので一定す

匹に北部に向っ 制制に音水、ガ 年に機能を現は

電氣

な数ふ

濁流と命がけの悪戦苦闘

(職物の大部分が直域化能から同方」で批算したところによると精神か、母に直線したがら危険を行して飲、人事不名に陥つた、根拠電は、目来が各交に降出されてのた額級、他の標準施政、認よりを基準とし、機に終し、ついで認る数十四名を一生を停て向院に該を着いた時は来が各交に際語によって沿下途に「ピン商工機施用が取行の障礙・法」くや光づ月半金思想を中と共に営」には音電点を受けたがらも九死に来が各交に際語によって沿下途に「ピン商工機施用が取行の障礙・法」くや光づ月半金思想を中と共に営」には音電点を受けたがらも九死に来る方面は、解に終し、ついで認る数十四名を一生を停て向院に該を着いた時は表になるのをみて歌風を行して飲人事不名に陥つた、根拠電は、目標での大部分が自然を持つて飲人事不名に陥つた、根拠電は、目標である。

小山三面、本山左 田)一二に今張二茲、霧川四塚 「一本」、本化左流路3次。 太空二流(田正珍)、 「一本で水松二茲) 今四 (昭第)、 「一本で水松二茲) 今四 (昭第)、 「一本で加入いで水松二茲) 今四 (昭第)、 「一本で加入いで水松二茲) 今四 (昭第)、 「一本で加入いで水松二茲) 今四 (昭第)、 「一本で加入いで、 「一本で加入いて、 「一本で加入い、 「一本で、 「一本で

みな存む

會區軟式野球大會

『人音順』の世帯を称るに至り十一によれば、死機三十名、行方不明一のは長鶴而郷城里で山崩れのため【郡田】陸閘閘礼各門川北城水上「九月午間八昧城郡各面からの僭職」十九名の名きに遂し、殿も淵域な

のこととて超き出る。満なく、理に二度部治民を起して魅つたが、一般に関と見らやドラを叩いて部落を魅り既能したが、午前二時

は既に胸まで遠流が押し寄せて居り泣き呼ぶ十二歳の長男と九 れでも起き出ぬので三度ドラを仰いて動り、自宅に励った時は

百城里部落一全滅

和の被称すれ日見至領リー 一世の大名は庭郷年業中その他家語。かに続ったのは血酸の量量を、 一世の大名は庭郷年業中その他家語。かに続ったのは血酸の量量を、 一世の大名は庭郷年業中その他家語。かに続ったのは血酸の量量を、 一種の大名は庭郷年業中をの他家語。 

と立つ老人の姿、夕食の船に河底

の泥をあさりジャガ字を聞かへし

哀れ壓死者十六名に及ぶ

農作物以被害甚大

ン郡内水板被散に定亡者」名、確「もなく卑び今次の衛雨に渡はれて「永同」十九日午後一庭現在報財「低底を聞いたがキッと一思つく暇

復舊に五十萬圓

慶北の水禍の犠牲

伊達知事聊か憂欝

永同にも死者二名

苦を京服して今春かたばかりの雌

の際場が狭い場に駆除を引つて都書の中央を傾瞰し八十年の内五の企業地で十五世十国工庫生事支流より押し市せた南南は金流車 金融国事を展出した、中にも競れなのは振興の長い版書は、そして「声を流失し二十声を創展し死戦略見十六、行友不明十一といる

気つた銀行には十七日同地を破場した金加事一行も腕を続くした、い種となつて緩促された、振興館長といふ重武の賃貸に一子をもけ種となって緩促された、振興館長といふ重武の賃貸に一子をも存み去つたのであつた。 戦長は次男は水中の地比解の床上は済ー

棚では奇楽器があれば遠州移政としてが位せしめた方が星世では一般では、「難と我略に等しく、同里の観典といいずは親ら麻鰕で短を残い、「難と我略に等しく、同里の観典といいずは親ら麻鰕で発き、一般とか作人ばかりで 家を実い小作地

して働き動く本者二町少の田番を

理(\*)さんは約十年前に前記に国

日間面面架詞に李徳一直つたまく鄙逆の餌食となつてし

まつた、あまりの打撃で今は私人

を終し十名の家族を抱へ身を前に一

一般の同様を集めてあるのやらになつてしまつた氏の襞は

【全州】今回の水田で最も哀れをとくめたのは金別上流の完州郡

類型で、同里は丁度金州川と全州上水道水源である支流と

幾多の悲話を織りませた

元州郡新里の惨狀

能の次男を兩脳にかい込み逃げ出したが水中の鐡道総路に置き倒 れる指子に次男を手膛しアレコと言ふ間もなく測流は窓も次男を

漢江水害の示唆

逃げ遅れた

夏山 部十数ヶ所に古路 スタンプ にのため邑内と帰属寺在住の畑草小

村民七名を教ふ

殊勳の駐在所巡査

洛東江の水害美談

一部黄型発圧しいまくに部落を整合

光をあげるものである

江南地域水出の惨る

を期待できると思ふを期待できると思ふ が、此の處投資さ、確立音を確認する際には行かる疑にすぎないので、そ

大印』駐在巡査をめぐる水散実

**采服四戸・漫水条樹床上四戸・周|織に離してある鬼跡を死守・観夜 √可喜かの方生で見架すだ終する欠暴届一戸、倒壊楽風四戸、早塊|かに邪診の鳴五百枚を強襲して惟|經節で比近く詳細に坍縮調査を行失条届一戸、倒壊楽は四月、早塊|** 

| 日に関し即時謝解を発告した後選 を 敦助完全に 評解させた、直教

道路にかける水竹川

選続分配に殴内の有職者は内地人 東地面の野型の野にだける水形の一

名に側部でると平均百七十二宗

點を二百二十點程度とみて少くと に入らないことになるだらう

火葬場

更に水魔は妻子をも奪ふ

党集に逃げおくれて三歳の子供を一てゐた米穀牧札打合官を定権施行 下凸則長を召開して社会館を開館、十九日年間十一時から宮廷を敷をすべく二十四、五兩日に即つて郡(幕地に彦上祭部の淫坂をみたので 【水原】後て新設中の日大胆場と 廿日から

一瞬く間に比を失ったはかりでなく。第の別頭として能深。国時に行

涙を唆る水害悲劇

でに引下げ認可を申請し直答局の 故人を聖よ此情風鼓響を騙予智 国際を得てゐるにも拗らす趣道局 故人を聖よ此情風鼓響を騙予智 一年数百万本語目 金引下げについては 既最の如く水 は 最に 派去した 野は佐山 楽山氏と 【永豊浦】東電水豊浦線バスの貫|脈説することとなつた、たほ常

鐡道局の反對事情判明し

再陳情で近く實現

國家、社會の柱石、指導者に告ぐ

所スタンプ

【馬山】 昌阪郡総では自治管郡法 【 陽州 」等買支品に排収が明では |

昌原の米穀打合曾

は、で国政を語するの虚れは更になる。明、山野で指揮を廻ってあるの。明、山野で指揮を廻ってあるの。如所は近く邑に届人される合章。如所は近く邑に届人をれる合章。

路級工頭五

診察無料で薬價は十錢均一 大邱に實費診療所

|| 対性れ十日から南 | の事項を附続電話した

度一般會計經費決別計画人九年 樂特別會計經費決別計畫人九年 委請與選舉 樂計號の件人九年度委託數資事 方法人副組入 樂計號の件人九年度表記數資事 世界或報告▲十一年度委託立图 中一年度報到の店舗投資收 版▲十一年度報到の店舗投资收 市场本一年度報到の店舗投资收 既選舉▲財産医分▲規約経

要は永守流線ベスは中間客が少から京電バスの賃金引下に反對から京電バスの賃金引下に反對がら京電バスの賃金引下に反對

したが不在のため保職政につき當 は相郷へて郷道局監督課長を訪問

大日ハイク送別會

明したので永登浦順では韓道に再

開催盛足であつたが特に山田、

午間十一時から砂板に定期網頭が 水南政艦からは牧野衛の保控がt

「周州」高女校同説質では十六

に配色があつて結局さきに行はれ

展手質、荒木、金整頓、木下結氏 際情することになり二十日午前十

水登浦署の陣容 **十餘名の新進增員** 高等司法とも擴充

といふ意味の態度であつたので重

間郡領職官で面長寶額を開催

**永同郡面長會議** 

【永登浦】京城永登前巻では金融 | 情報として内地人六名朝鮮人四名 御歴事は本町署へ轉じその後低に城等展事部長は江華署へ司法の小 の巡査を増設したがなほ高等の回 たので質量でも大概要求を訳とし ねて原連線などよりはズット地収 である質情などを説明して陳情し

を告げたので陣谷の振光を闘る匹
た土地の趣暖につれ極度の手不足

鎭海灣漁組 通常總會

券る慶北

農工作物被害二百六十萬圓

| 花巻|| 青町町の鉱管器館は十八日|| の間に合はないので窓書り懸念部|| 道熊華鴻大道熊華島長龍に本町塔|| 花巻|| 青町町の鉱管標定道漁業 | 雲に迫られたがら食質観器で見念|| 道熊華鴻大道熊華島長龍に本町塔 福通りは可するものと期待される たもの、如く從つて近く京電の申

中堅靑年

「河里」郡では二十四日から五日 河東郡で開催

の古田京城松粉監督局長歌迎宴から北一樓で初巡視のため來永中地元官民有志は十三日午後二時半地元官民有志は十三日午後二時半地元官民有志は十三日午後二時半

中野郡年経殿に封する雕跡で齢師ったが、諸郡科目は慶村振興及び 部年を架の監査師を聞くことにな 間髪巡ぎに面更競及び各面の中野 なあるからい

明凱・受講者は二十六名 **管抄員會は十八日午期十時から** 【永同】 国公立中寧賢業県校期

に亘り明確写で中堅青年講習官を 【永同】郡では十一日から八日間 ◆

河東の南鮮



永登浦選擧分會の

府議戦は相當混竄

KIKLRAT

**:**\$

草精訓

海貴來

新治療藥

逆城面長會議延期

る動

脈硬化症と

人生の羅針た

たのでにむなく延期 南日同宮諸宗で管内十六ヶ面の面 に、明】 選城即では十二、十三の

腦溢

特に軍人、政治家、事業家の如き **良斃はこれです** 

身の 職が血、等を起して、急死したり、不具務人に片附けられたいはず、政治家といはず、事業家といはず、主なの強は、野盛りの声は、一般に已み難き勢と申しませう、故に早期に動脈が硬化し、一般に已み難き勢と申しませう、故に早期に動脈が硬化し、一般に已み難き勢と申しませう、故に早期に動脈が硬化し、一般に已み難き勢と申しませう、故に早期に動脈が硬化し、一般に已み難き勢と申しませう。故に早期に動脈が硬化し、一般に已み難き勢といはず、妻後の害、肉食の避ち高くなり、あたら男性りな盛り、様き盛りに脚が硬化した。一次は一般である。 るのは遺憾至極です。

は専門薬でなければ効きませぬ

でも 解る高 症

野痛と不眠症,便秘种尿、厚のコリ、腰痛等 萎鬚症、神經痛、リウマチス、ヒステリー症、心悸亢進症、萎弱症、神經痛、リウマチス、ヒステリー症、心悸亢進症、

COMPA

住頭似類に迷ばず、直接不翻に御社交額ひますを開到る屋端的及デベートにあります、島田の節

東京市本郷區菊坂町五十二香地 整點小石川五一一二番 設勢東京四六一八二番







の際作物設置とは僅かに三十英国と十六百八十五国であるから今回 洪水の配作物技器は二百四十七萬

▲人の光二○、行方不明二、頁 個二二、頁例三本家國の沈夫、行方不明三、頁例三本家國の北天、仁 資源一、四四八本服由定央九本 資源一、四四八本服由定央九本 可能失三四〇六反、地理一、三 百成失三四〇六区、地理一、三

四驛の新策

釜鉞で入札

京入札を行つた、丁哥は十一月

き、館取各員に設立の岩古ニュー後六時から第二小學校に總額を用 【三出】釜山考古館では廿二日午

釜山考古會

座談會を開く

|大邱||大邱府園では限て欧

新聞名記入申込玄第連呈▼展理説開書御入用の方は

品賣發田武

(可認物便郵酬三類)

な醉惡に錠二の圓會宴 な醉日二に錠二の圀會宴

制

酸

心窩部にもたれ感があり、空腹となつて胃が痛む。 これ等の症狀は錯綜した生存競爭裡に於て心身を過労 食後に胸が焦け、暖氣を催し酸味の生水がこみ上げる

◇……胃潰瘍──胃癌の誘因となる

重曹剤の濫用は危険

し、氣分を爽快に導き錠はよく胃の荒れを治

こんな場合ノルモザン

向飲酒前に服用して置

けば胃の荒れを防いで

用ひて二日醉を豫防す 悪醉を避け、飲酒後に

る効果がありますの

【適應症】 胃酸過多症、胃液分泌過 多症、胃潰瘍、胃痙攣、胃カタル 移、悪醉、二日醉に胃痛、胸焦け、嗳氣 胸焦け、噯氣、 溜飲、 便

## ◇……現代人に多い胃酸過多症

原因は胃液分泌神経の亢奮により胃液の分泌が亢進し、 する現代人の陷り易い胃の症状です。 て生じた過量の胃酸が、知覺過敏さなつた胃壁の粘膜の粘膜の を發すによるものです。

触して潰瘍面をつくり、途には出血をみる所謂胃潰瘍 右の症狀が長延くこ、胃酸の刺散は胃の組織粘膜を侵 至りますから早期に適當な治療剤の服用が肝要です。 に移行し易く、或は又恐るべき胃癌への道程を辿るに

ご胸焦けや胃部の不快 ますから、のみ過ぎる して胃液の分泌を亢め 酒、煙草は胃壁を刺戟 のみ過ぎに

酸、食慾の减退等を來

重曹なしでは行けの程の習慣性さなる缺点を有します 和完了後は産生された炭酸ガスのため却つて胃液の分かくのはか 重曹は單に胃酸の中和による一時的の効果だけで、中気を 必を催進し徒らに前症狀を繰返す許りでなく、途には

## 理想的なノルモザン錠の の藥効

ノルモザン錠は、建酸アルミニウムを主効分さし、之に 對する治療効果は次の貴重な諸作用に ロートエキスを配伍した新制酸鎭痛烈 ① 胃壁の粘膜を被覆保護して患部に及ぼす胃酸の刺戟 を遮り、患部の治癒を早める。 より営まれます。 て、胃酸過多症に

② 余分の胃酸を中和吸收して酸量を減ずる。

③分泌神經の興奮を鎭め、分泌腺を收飲し相俟つて胃 液の過剰分泌を整制する。

効果を收めます。 故にノルモザン錠は、速かに胸焦けや胃痛を鎭めるこ共 に病因である胃液の分泌を正常に引戻して原因的の治療

進しますので、胃酸過多症患者に多い便秘に對し果を收めるほか膓の蠕動運動を亢進して便通を催 ノルモザン錠中のロートエキ を亢進して便通を催スは、胃中で鎮痛効

元 株式會社武田一大

發

賣 關東代理店 株式會社 ηı 医市東區道修町長 兵衛 商店 東京市日本橋區本町西新兵衛商店



三 日 分 (五 回 酸) 一透間分 (二 関) 一方月分 (三関五〇) 一方月分 (三関五〇) 野川 三回分(二)〇銭) (藥價)

36--- 1<del>09</del>9((1)

に於て協議なる協議を登むてるる。など東北台際より共享各乃至七十年の政治教行局及び北漢道國常局。外づ、及扶田、山杉、岩手、福島

衛に参加する発官については過敗

【東京電話】北海道大演習の御野 | へその他新潟、神奈川、群場、栃

七千八百名の警官

常り五十米、市街地州米とたつて

るる、何に各所縣より過道の祭門一様つて正式に決定版を渡近の登定一あた事物唱お目玉

は改迫中の資揚路保局長の帰京を

窓を失敬して面白半分に索題して

**E** 

趙野永(三)で知人の運動発作

きでサイドカーを運転してゐる男字路の人混みの中をあぶない手つ

の艦言衛

木、埼玉、千葉の各際より百名内

彈和

は北海道器質官千五百名、響風器

に配備する方針である、而して

の器数四萬條名中より問題優秀 ることになった、消防手は北海道

力闘の朝鮮軍遂に砂を嚙む

學生團

全鮮聯盟 對抗相撲大會

○腰間 (中央) (小鷹野 (京館) )水野(早大)灯河伊丸岡(丹友)

節木(事大)込み、水深期(京間)〇

日比野C法政)投污塵井(同)

けふの天気

優秀な警官 が頭板さ

七千八百名

株の中を重なっている。

个便と危険 きずるに

題級とされてゐたが、今龍館に通

種類物表他既能動の配製は少年の は年用能行為にも民間飛行為にもな概念である。此職被地職の番厨 されるものは認品出来ない、これを概念生命をない。これのは認品出来ない、これを持て物能になると質局が認定し

中であつたがこの程度でした、調一の細胞性質が専押へ調べると、

ついて調査 ともに 外へ逃げ出すのを 通行中

動植物の質庫牛島

また珍品探

**企能上軍は、質々世壁の第一線にての豪華な幕を閉ちた、この間日** 

判岸の

最後成と、五十二十月に回

た関閉上による推打場の施設の概定、関の航空技術がは位置信息を動物、緊哮を法律によって駆战することでの航路の間米が飛躍となり、ま、先年日本空輸の羽跡はを申心に金一、特別・地域・を一、際に、この一名の航路の間米が飛躍となり、ま、先年日本空輸の羽跡はを申心に金一、特別・地域・を一、際に、この一

に報じ、京城池行場も内二年曜れ

間から一粁の開鍵でこの地域内にになつてある。この地域に出の外

局航存係では

も施行されることとなるため観信 は内地外地が過去で半時飛行場で とも思定されてみる、この順容法

**踊つたと思ふと、下部人金融女さ** 質繁行商人が訪れ、各学をのぞき 進町二四半下間に金三份さんらへ

自安部第一、統定された龍公一

十九日午後京城清

IJ

Ľ

名取本社特派員撮影の數百點

あずから三日間 大澤商會

で

鍾路署に御用

泥公二

限近く質施

は近く動台によって励行される

牛島各飛行と⇔支障なし

今後のために十分取締る

場附近

わあー ツ!鯉の巣だ j

> たあの語へ行から々といつた例で 日落した魚が大きかつたか

から面白いこの図話地帯は一道

"ボラ、ナマズ、ギギな

班船は二級、三級、神へ/朝一東の至が興つ……と

〇城崎 (哲大) 側り盤

a

美国(関で) 恰異

百山(折大)出し米田(銀箔

第二回戦

行用(動作)脚し要

阆

エッサ・ギーへ

かけたのである釣といへば、大僕もこの間ある西海岸に釣に出

音、憲法和等の古者を取趨め英国氏して光づ鮮殿、和殿、洋服、肌

化柳界明朗化の

太郎の指氏)

具體案決定せず

山(よう作し) 類(まき落し) 類(ア田し)

開金等の取組め

ならし近所の住宅の人々に迷惑を

「最近としては登美時間の縁題につ 。 なない、また細かい器主での方数 ではまだ何とも狭まらず知事節長の ではまだ何とも狭まらず知事節長の

毛塀(押し作し)

本町器では遊妓のないやら既に上やら一層努力することになつたが

| 国を希望大会にぴつくりした。| 十五分領市域ニ清町で百七十千一門成高度にた君は昔日朝上に 直な岩者

### TI) ら開放す ク寫眞陳列

から三日間一般に公昭することに せるものあるが、簡単の都合に の活躍、スタギアムの興奮、プールーする、ご人場は自由である

なつた、すばらしい設備、日本選手 りこの中から総合版を選んで映列 の版ひなど大僧の盛況さを彷彿さ

正規指る 京雄道長間点

(新大) 出い間

陽重感光網

達した信報によれば当日、出約日 学生を経過から発行局に | 野宮長から機関があり、順軍主將 空陸から撃退 の上僕上の聞い握手が交はされて

四世二十分第一回職に入つた、階 元文(\*\*)は數日即同業者の現今 国を辞収要を聴したが、十二 岐商優勝 代中を取押へた 借用能路を送つて来た細胞

前 月十一日開講

可等發備灰 醫工受驗科 **夜間 數學受驗科** 高等受驗科 **夜間 綜合受驗科** 台河駿 田神 京東 

一タイアド黒線茶線型鉄呈

一暗報

ě

叮哙周。福本日。京原

地本丘五四つ自君工本一一人と地本丘五四つ自君工本一一、 の選挙は出合行加報を 対象は出合行加報を



十月午後一時五十分より甲子間 『子問世帝』 第二十二回全国中 学校侵間近場大宮の優勝試合は 中等野球戦

銀ぎつて聚るがこんどは鰯鬢分類「鹹類を英めたがら尾形氏は主に内のために所界破究者が騒眩として「塩田氏は主に動脈動の露虫すニの」

のために所究研究者が屋板として類の都さを他の地方に比重なくそ

南西弥然と北部系統の動植物の種│南西畔一帯の動植物採集を終へ

を訪れた、

朝鮮半島で

あつたとい

この年間は窓要共に恵まれて

受明を切ともせず約一ヶ月に宜り 真航する改定である、淡山の牧祀 来た、その一部は既に本紙に

東京殿大神は藝術氏一行が建日の めて乗りの中球電温地から異常に 京文理大鷦峨県被部階を殿が氏、 一ヶ月の世紀で北鮮各地を歩き場 野熊螺線総勝客毘ヶ崎清太郎氏、 里 〈歩く積りであるがこれからは鍵 野の観覚都勝極省戦能に田久吉氏」際が生虫を駆めたがい発鮮を隅た

之助氏は大

ると十六日長松縣城を田崎した 本軍から江界守備隊宛の毎帯によ

十八日日南田湾の国国と

我能かベルリンに特なした名取洋

記よりは結びに国民 おたのであるが、

屋田氏ら四氏で探し廻る

の試合を行つた、天知(附)範田球型において被阜西棠型平安中壁 が優勝した、閉脈午後四時

ガスでまる歌巻三氏二女関いさん 幼女轢殺さるの規制的 九日午後調路スノニニ四

大和 (明大) (广) 百山(拓大)( 白山(五大)出し後町(立取) 李(京館)群し大類(明大)に

北海、樊泰·省、戏资川、曹光明、宽城间、奥水、光等原、安全省、戏资川、曾光明、宽城间、安岩浦、柳县 建筑、明基源、克内阁、紫陵河、典志明、清宁园、黄木园、西基源、克内园、紫陵河、共志明、清宁园、大大

城崎(拓大)

六人
 三人
 三人

缩本刺名星 店商郞二大非機 鷂

※ 京日案内

質部〒甲塩井路 院

牀 是(愛里里·格爾爾女)

住まつてゐる本屋さんの父が、 みた。あの娘の父、古い話の中壁論は、もう一度記事を離直し

言れる。

(16)

ことを知ると、何か妙な気がし

香华 春交

大段▽平

漫》加

殊によるとその家庭の中には

あるのかも知れないと思った。 判か、面白くない事情が超されて

局

間は六八玉迄の局面

四五六七二排刺 ▼加滕氏

ごういふ方面には開催になつてる

語つてゐた本屋さんの味だ。

あの病況を

も題び出されて来るのだった。 Lが頭に浮った。その時一緒に連

何時も聞くのと同じことを

しづく取くたりかけてゐますが、「故願の整弦の上には埃が一般たま」何時も聞くのと同じことを――少」長い間掃除をしてゐないらしく、「

したやらに被つてゐたの病院では

9知らない娘だつたが、艫子のこ | 男選は白い上衣に姿段能を云ひ合|

で、彼女は、武みに格丁戸に手をか

待つてゐても何の應へもないの

けてみると、する!しと聞いた。

見相は、小首を傾けて考へてみた。 思い出せなかつた。山本ーと 通しても、鑑だったか失戦り直 と、爲風の選手の顔を見た時、

何處かで確か見た形なんだが、

**極へるために 立つて ガラス 戸を** 

て臭れた。配りがけに、歌局のない。 聞かされ、同じやらな水薬を作つ

廿一日番組

一、青年と勤労生活

山口家常

青年のタ

ニユース・天気見込・駿

同九時三〇分 唱劇調

時三〇分(東) 講演一、背

廿二日き、物

金曜日) 一放送

デイオン獲奏 可愛いゝ駒鳥外 デイオン獲奏 可愛いゝ駒鳥外 大食 邦彦

南山の方から爽やかな朝風が、

られるやうな事がしたので、第を

てみると、一番財象に残ってゐる

二一院の部隊に佇んでゐる更細の歴 みたがよいと思ってみた。父親が もう、すつかり夏で、町を通る

と云はれた

「野」同七時(今日の天派長込) 同七時(今日の天派長込) 明っ… 「関七時一分〈京〉明っ…

の手酸としたりすることは戒しむ

ス・氣泉運戦・翌日の番組 コート

表 同九時(東)時部解説 この一週 地名博士 五分(東)ラギオ小説 では日から 「東日の坂」 「東行田之田」 「東行田之田」 「東行田之田」

同九時(東)時事解説

故

たらぬ

彼女は身仕度をして欠しずりに街しいて、そのことを密ねてあるらし 十時過ぎに出版所へ出かけると、一のを映習に、傍の程識癖に同か感 ると、さあ――と云つて首を投つ | 中前六時(東)ラヂオ僧漢 であたが、婦人科の方に通つてあ | (七) 日・Wジョンス (七) 日・Wジョンス

でも流産なすつたやらなお話です P証明お見をになりませんが、何 再び競局の小器から館を製かせ 立(ひらめの鳴戶づくり・もみ) 「一五分(氣速通報・料理献

供と他の歌のお捨古

[座游床趣]

分五円時六後 り 巡蹟史

征と阿波忌部神武天皇の御東

出した。何といきことなく心を宗 子の、初めて逢つた場の姿を思う だが、遊鐘とは興路数してあるだ の水圏梯だのといる季節の果質を らうか、一度添ねて行つてみたい 手頭に盛つた節を、水菓子屋の小 と称へてある内に、足は、一般 屋の前で留つた。枇杷だ 正年上県)時報 日用品加設・鮮一、子等唄 二、ねんねの祭 午後零時五分(大) オース助奏 屋田 義雄 - 挑谷演奏所より

宮崎から大和園へ御進出になりま「が興波に居るものが最も盛んであ

――鄭武天皇が、日回國行の一ある皇部族は筑紫、出生にもある

井

£

77

した、御道面については古事記、り遷渡と記伊とにも居る神武天皇

ある部族をして肥沃の土地を求め

て解、数を植るわせたといふこと

か (イ) グリスマスディシクレッ か (イ) グリスマスディシクレッ か (イ) グリスマスディシクレッ か (イ) グリスマスディシクレッ 【(ロ) 智くらべ(ハー ままちから、原変天皇に點した。 田田 楽閣 に 能識せられてゐる、我が 頭波コブルゲール行連曲 「具」 れは紫の憲三御張國史し でくち、(は) 時の 御離りになったといふ時になって、(は) 人形のすり 御酢的になったといふ解析になって、(は) 人形のすり 御酢的について細ひをいださ、(様) エのマーティト)ハ 御酢的について細ひをいださ、(様) インち ▲管地について欝金配売の結果、 いふのは神武天見御果他の時に此のまたとの、然るに大郷頼地前は、此の に来たのである。 河西国が円崎の東たと、東西の大郷頼地前は、此の に来たのである。河西国が円崎の 日本世紀ともに九州から瀬戸内御 みる 浪速に御着、それから記州の方へを安鸛園、吉蘭園を御池みになり れから阿波を巡て、紀州へ御進出 になったものであると断定されて 日向から土佐へお寄きになり、

ないかとも思ばれる地を創進過あらせられたからでは

家庭講座

十年 年 明

魔を以て結論とす

から極定的目盤に立つての鬼連長

更に進んで仕事目置が修設とた

【又一大音の年には創波豆部

を小僧に興へると、直に怒内を名。 日に立つた襲新は、何程かの銀侃 修に提げさせて、千夜子の家の声

してしまつただけ少し位無理でも、
狙つたのです、壁つた形の特供に
扱い、「重要は敵の六二王の形を **ジ投つた平野君の方「音の歌歌ある大郎音が上左即即即」で音の實地叢音を得つてみる | 鞍打戦れ班の手に八段金 | 97 二郎 | ものがなかつた、然るに史壁に相 | 興味の深い處が観いて添うした郷 | 戦れ戦れ毋の胸に** 大概的の御熊周史の刊行を見るま、「時に上陸したといふ番、「武小 職力職力はの同に 大概的の御熊周史の刊行を見るま、「時に上陸したといふ番、「武小 職力職力はの同に とのであるとして誰も取りまける。「他の音を整会方の物なぞ、歴史館」 快よき歌繁に結ばすそ楽し要ものがなかっこ、著り、「北小 職力職力はの同に りま 清明 一個には古から、神武天皇に開 れ、此の雨光にハッキリと湯に 御史書は古来館成あるものとせら 其一れは紫の著『御雅順史』 き一時中絶したが今日は運活され は原表証が四國配伐屋邸の頭に鉛 一御駐散あそばされたと大概者の帯 て御即位式の歴には古例によって 史もありそれが南北朝頃まです 史もありそれが南北西野までも間から「荒夢」を奉献することの歴 へる福港の高島、其他町の附近に

泣ける西い田哉も、こくに後分か 「殊」に思語の部族の戦略で 程なぞとやさしい範疇名で一般の 【而】 もその地名が俗、 fiž,

れて軽はれそのため整田者として はと十六百回の大金を子第銀行に要は 四七十六百回の大金を子第銀行に要け 信仰門が時も同じ昨年の四月、 8

~(節)(花)(浪)

坂婦夫のれ譽

装をした自分に否添って、記念の 他の問題の佐縁のでうた細白の

挖碳關各九時間 消費時間

▼一時間一十三分

**58**分

指しました。

れない。

製の吉田智長は郊不清助巡査を呼◆──関始二十二年四月佐食養豆

が出して、千葉に送る一角帰国の

挿龍

自分が結婚した時も、ハイカラの埋合適中してゐるのだつた。 た。さらして、彼女の推測は大抵

馬山 ŤŤ 念行前日 (急行)毎日

・斯くして無事使命を果した

二時11日 日中

施水行 やかなお化粧が

居たこと信ら一人の男が後をつけ 即歴に派閥を干薬に走らし自分は 放たれ鈴木巡査は腰件を撃たれた 鈴木巡査は縣知事などの見舞客に

出来す殺しては面汚しだと数ヶ所 列**鲜的汽船出帆**废告

A CONTRACT

る大後と認んで無数して、近くの「げ十四五丁歩いて一般の際家を組 一年は反告を定し 開業、 しまを選 産したが、産後の日立も掛々しく 復認の意もあつた、星速質にあま一の流傷に狙せず、乱敷いて縛り上 配も膨水巡査にとつては父」てゐるのを知つたが、庭々坂を下

動機などを廻りなからや

米幹文、落合直文の門に入つて、紅の蓋儀の花園くぞを枕辺に井上氏は最初隆型技に厚が没久」、崔光まで最もで見る

眠れ眠れ可慮い若見 夜殿ねて壁めて見よ

暖かき其他に包まれて眠れやよ 高杉商店回答 漕派

肌目細かに艶やく のまいに生かして 和する魅力の表現です。レート水白粉は多 ますから●どなたのお肌にも素敵に良くッ 年の研讃と洗練された技術によって 女性のお肌にビッタリ真向きに創られてあり 汗や脂にも決して崩れずの朝つけたら晩迄 イて 見事にムラなく伸び ● 残暑の過剰な 日粉の薄化粧こそ 季節の感覺にピッタリ調 ٤ **清新味溢れるレール** 素肌の美しさをそ 日本

色代近るれ溢美覺恩新 色白・ルターオ・色泉造・色泉 観〇三色各 木・韓五二色各 粉

自然の美しさそのま」の巧まぬ爽

生きくと長保ちします。

東京・平尾資平商店

東京・ | Will | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 生無器付新利率人七十銭



な 0

司

本邦唯一の きツワ家庭薬

節は不匙職に思って表札を職 同六時 IO分(東)コドモの新聞 血力へのニエース(朝鮮説・芝 第二放 送

佐田宝労と、良人の名ら

本紙一萬號 | 念懸賞小說二等魯選

知識の徹底、意志の銀難、情操の 現實以上に住きる生活の調である 特神生活とは物質以上に生き、 文 生活 000000000 円年の夕 講演 青年と精神 ili D

り、精神生活の完成を飼質的幸福に偏駆し、情意の方面を開却した 開治、いづれも精神生活を充實し 完成すべき方法である。 しかし知 置よき百合の花句ふぞや指版に 一夜懸ねて起きて見よ既れ眠れ可愛い若児

大羽

べきである。近く皇紀二千六百年 を迎ふるとともに、オリムピック 期に直面する我々は内的にも外的 を我國に聞くといる國際的な好時 ねんねのお里の とんとんとろりこ

し、充分な精神的訓練を積まれば 大紅民は大倉糧*華文*化研究应極 大 倉 - 邦 汽 二、青年を勤勞 夢のいる とんとんととも れんねの揺籃

一仕事に当する感度としては無我の **奉仕であるべきで、これ即も目他** に食はんが貧の職業でもたく 際の色 見るものは

共に生きる道である所以を就く

件奏 川部 田田

大勾高、神戸の山田流箏曲師匠子さんは畝中村大梅校の門下で子さんは畝中村大梅校の門下で子さんは畝中村大梅校の門下で日勤務の横笛楽能の人、川部久和田柴水氏は元朝日新聞神戸支 際よ、明治初年の作曲で山田流と 松風は山本機技、中能島松豐二氏

手も加はつてゐる、放送は拔萃で 順はず極笛で演奏義します。 しては新らしい際があり生田風の

歌のお稽古 子供と母の

弘田龍太郎

カイブラフ 尾田 発種 質面 圏唱 小森智慧子

区尼崎汽船出帆

小平動氏監督製劑理學博士獎學士